

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

## 2. 競技場入場について

	入場ゲート	競技場待機場所	補助競技場	その他
選手	Cゲート	メインスタンド（地区割り） コンコース（熱中症、雨天対策）	利用可	付き添い不可 当日参加選手のみ入場
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室・競技審判場所のみ ※メイン・サイド・バックスタンド利用不可		ミーティング不可
引率責任者・観戦者	Aゲート	バックスタンド サイドスタンド	利用不可	付き添い不可

(1) 顧問は大会参加者一覧表を提出。(両日とも)

(2) 引率責任者・観戦者は顧問から観戦入場者チェックシートを受け取り、記入する。

当日Aゲートで提出し、リストバンドを受け取る。再入場の際はリストバンドを提示する。

## 3. 招集について

(1) 招集所は雨天練習場とし、招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(2) 招集の手順

①競技者は招集開始時刻までに雨天練習場に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。

②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。

## 4. WA規則第143条（TR5：シューズ）の対応について

大会はWA規則第143条（TR5：シューズ）を適応する。

規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

## 5. 競技運営について

(1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。

(2) (着順ではなく) 時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は

0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。 [TR21.2]

(3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。 [TR16.5.3]

(4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。

(5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

(6) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。

(7) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。

(8) 競技者は助走や踏切をやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。 [TR25.3.1]

(9) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。 [TR25.3.3]

(10) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。

[TR4.3]

## 6. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブスは通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

## 7. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技		
走 高 跳	男子	1m35	1m40 ~ 1m65	5 cm ずつ	1m68 以上 3 cm ずつ
	女子	1m15	1m20 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上 3 cm ずつ

## 8. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

## 9. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) ウォーミングアップにおいては個別で行い、付き添いをつけることはできない。  
(新型コロナウイルス感染防止対策)
- (3) 引率責任者は補助競技場の利用はできない。
- (4) 競技場周辺での練習(駅伝試走等)は禁止する。
- (5) ハードル練習について
  - ①本競技場使用時間は、女子のみ開門時刻 ~ 8:45までとする。(アップを含む)
  - ②男子はサブトラックに設置しているハードルを使用する。
  - ③個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (6) 投擲練習について  
メイン競技場と補助競技場の間に設ける投擲練習場で行い、次の決められた時間帯で行うこと。  
また、メデイシンボールのみとし、練習できるのは出場選手に限る。

組	1日目〔男子 砲丸投〕	2日目〔女子 砲丸投〕
(5)	7:30~8:15	
(3)	9:00~9:45	
(1)	10:30~11:15	
(2)	12:00~12:45	
(4)	13:30~14:15	

※投げる方向は練習会場系の指示に従うこと。

## 10. 競技場使用について

- (1) 競技場の開門時刻は競技役員7時00分、選手7時30分とする。
- (2) 競技場使用許可時間は、メイン、サブともに7時30分~17時30分であるため、それ以降の使用は禁止する。
- (3) 選手・役員・引率責任者・観戦者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (4) 大きな声を出しての応援等は控えること。
- (5) 本部前の通路は、役員以外の通行を一切禁止する。
- (6) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。

- (7) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (8) 選手はメインスタンド・コンコースを使用し、フィジカルディスタンスを確保すること。

**※コンコースは、熱中症対策・雨天対策用として個人で使用すること。(シート使用不可)**

- (9) 引率責任者・観戦者はバック・サイドスタンドのみ利用可。メインスタンドは利用不可とする。
- (10) 各席、適切な距離を保つこと。
- (11) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器を利用・撮影を行わないこと。
- (12) その他のゲートは封鎖する。補助競技場へはDゲート横スロープを使用する。または雨天練習場の通路を使用すること。
- (13) 選手はできる限り待機時間を最小限にし、競技終了後は引率責任者と共にできるだけ早く帰宅をすること。

## 11. 兵庫リレーカーニバルの出場について

- (1) 本記録会において、ハードル 32 名、長距離 30 名、フィールド種目 24 名を推薦する。
- (2) 顧問は選手の出場意思を確認しておき、各種目終了後、大会本部で顧問が申込みを行うこと。
- (3) 出場辞退者が出た場合は、繰り上げ推薦をするので注意すること。

## 12. 競技による入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い入場は競技の妨げにならないよう、すべてダグアウトを利用し競技場所に行くこと。
- (2)トラック競技を終了した者はバックストレート側ダグアウトを利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。**※役員控室前は通行禁止**
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技者は競技終了後、手指を消毒すること。

## 13. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) **競技場周辺(園地)での場所取りや、待機場所としての使用を禁止とする。**
- (3) 各校ミーティングは行わないこととし、後日各学校で行うこと。
- (4) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (5) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (6) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (7) 招集時などマスクの着用を推奨する。
- (8) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマーシャル係が競技場内を巡視する。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合がある。
- (9) 下記の①～④に該当する場合は参加を認めない。
  - ① 競技会当日の検温で 37.5 度を超え、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
  - ② 発熱がなくても風邪症状や体調不良がある者。
  - ③ 過去 2 週間以内に、風邪・感冒症状(発熱・せき・鼻水など)で受診や服薬をした者。
  - ④ 同居者家族や知人・友人に感染が疑われる人がいる者。
- (10) 更衣に関して雨天練習場前の更衣室を使用できる。ただし、長時間滞在せず、シャワーは使用禁止とする。
- (11) リザルトはWebに掲載する(掲示板への貼り出しはしない)。
- (12) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (13) 競技会当日、午前 6:00 に神戸市に気象警報(波浪以外)が発令された場合、その日の競技は中止とする。なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。